

CASBEE神戸 ver.2 港湾技能研修センター(神戸) 研修・宿泊棟		欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE神戸 ver.2 ■評価ソフト: CASBEE神戸 ver.2 / CASBEE-BD_1		
スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		-	<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.4</b>	0.15	<b>2.9</b>	1.00	<b>2.4</b>
1.1 騒音		1.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音		<b>3.5</b>	0.40	<b>2.8</b>	0.40	
1 開口部遮音性能	教室の窓はT-2を使用	5.0	0.53	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	0.20	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		1.0	0.13	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		1.0	0.13	1.0	0.20	
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20	
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.6</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
1 室温		3.0	0.50	3.0	0.57	
2 外皮性能		3.0	0.33	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.17	-	-	
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00	<b>2.6</b>
3.1 昼光利用		<b>2.4</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30	
1 昼光率	昼光率は、宿泊室で1.36%確保した	2.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		<b>4.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30	
1 昼光制御	窓にはブラインドを設置	4.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	
3.4 照明制御		<b>1.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25	
<b>4 空気環境</b>		<b>4.4</b>	0.25	<b>4.2</b>	1.00	<b>4.4</b>
4.1 発生源対策		<b>5.0</b>	0.50	<b>5.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質	仕上材、天井裏使用材は全て☆☆☆☆とした	5.0	1.00	5.0	1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.38	
1 換気量		3.0	0.38	3.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	0.23	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.38	3.0	0.33	
4.3 運用管理		<b>5.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御	屋外の休憩所で喫煙を行う。また建物内の3階に喫煙室を設けた。	5.0	1.00	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.8</b>	0.40	<b>3.0</b>	1.00	<b>2.8</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	0.50	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	0.50	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		<b>2.6</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.40	
1 広さ感・景観		2.0	0.34	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画		3.0	0.66	3.0	0.50	
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.8</b>	0.30	-	-	<b>2.8</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>2.6</b>	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		1.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性			2.6	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		1.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.4	0.30	2.6	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.20	2.2	0.50	
1	階高のゆとり	1階:4.8m、2階:4.5m、6階:4.5m 確保した	5.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	研修室階:壁長さ比率:0.136、宿泊室階:壁長さ比率:0.256	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.20	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.2	0.60	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	1階床下はピットとして、更新性を考慮した	4.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.67	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.68 住宅(専有部) -	4.0	0.50	-	-	4.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	高効率空調の採用	4.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価(3c)		-	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	節水型便器採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体に直接仕上は無しとなっている	4.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		運用に伴うCO2排出量の抑制	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	一般車両、荷物車両の駐車台数を確保した。	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	